

繪本豐臣勲功記

三編

五



繪本豐臣勲功記三編五之卷

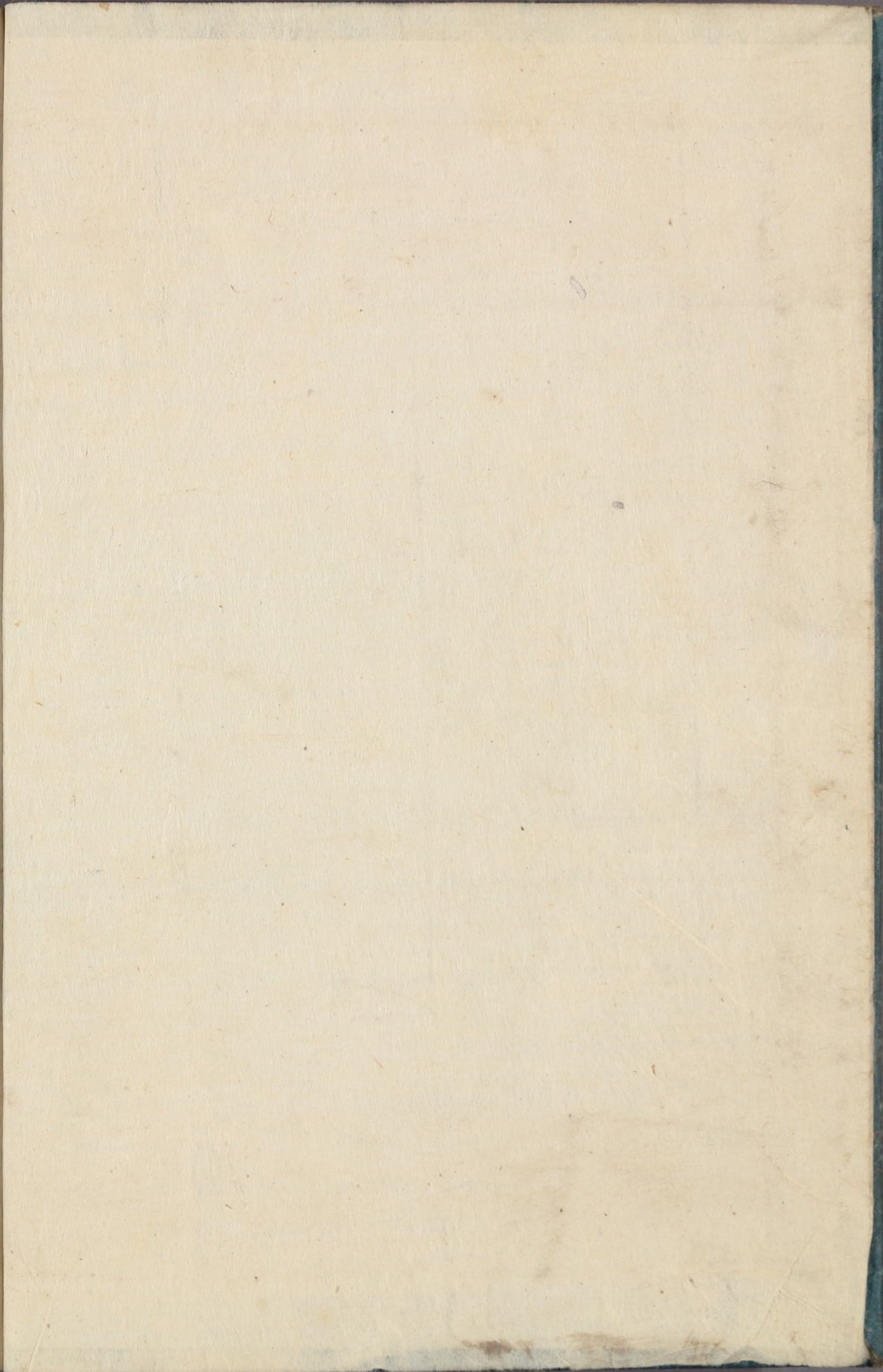
目錄

木下繁多きよしの多孫たご葉國はのくに司親戚しおんせき

屬獻義信長きよなが

信長のぶなが義使ぎし說國せつかくに司辨和眩しべんわくら

屬勢別系結せべつけいむす



備田殿帥大軍進發越前

属 陷中炮峯

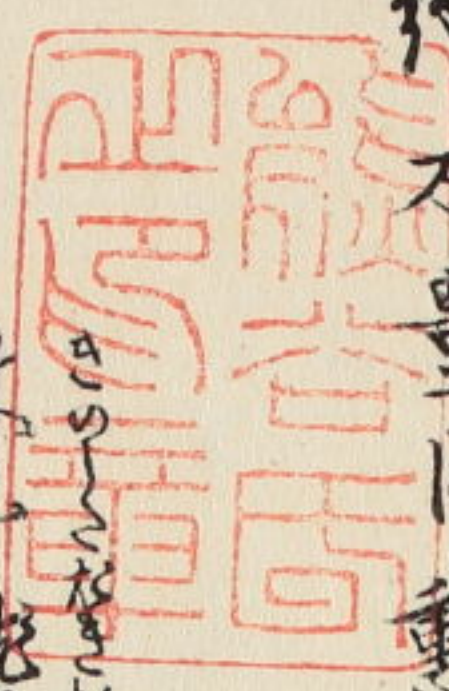
朝倉景恒猛勇血戦込軍

属 金崎兵城



僧本豊后勲功記三編卷之五

江戸 櫻澤堂山 編輯



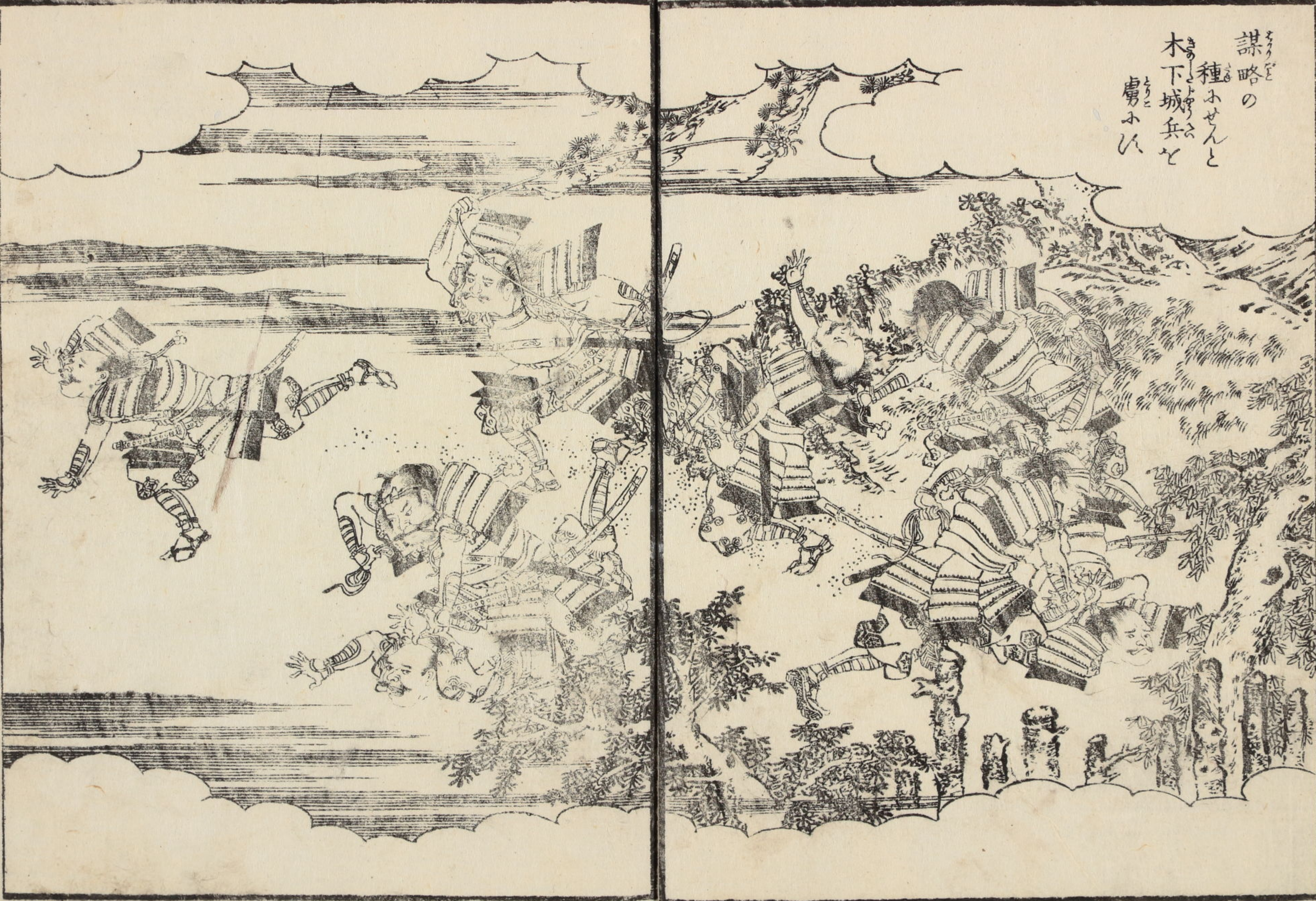
本下總守義宗奉國司親戚属秋長信長

火の陽子してまをく熾く。水へ陰子していよく渾一。然ども是を測るや
ま六火強の水弱小勝こと能く明。智。猛。勇。なるといふも。いりてり本下
及ぶけんや。光秀脱小秀吉が謀りも。心なれ。自己が智りの則
自己に惑えまかり。然る小大將寛勇。まは更。小。明。智。が。過。失。を。外。め。ま。是
小よりて光秀も度常の面目を施。たる。儲。ま。る。本。下。藤。吉。師。の。智。計。を。是
の名士なま六。一の謀計を工。更。一。出。幸。希。城。を。四。五。人。を。活。捉。を。や。と
か。の。ひ。ろ。ま。一。應。信。長。小。内。意。を。告。秀。吉。ま。づ。ら。北。方。を。坂。井。右。を。秋。長。新。六
師。陣。下。小。到。了。密。小。計。議。を。謀。合。せ。度。坡。は。る。自。軍。を。陣。外。鹿。垣。の。色。小

伏せどき。置本下勢を伊勢武者の像く打拵せ。織田の陣不夜殿より休
 小こまを料理する夜の寅を過り刻織田方の陣中小種火一時小燃焼しど
 陣を倉庫小騒動し。夜殿入り出入ると呼ぶもかく喊を揚。女流九炮を
 向せく。戦ふさまを城を見より。とて如進軍の陣中へ再び將佐の軍を
 夜殿とみよと覚へり。城よりも隊を合せく。夜殿は自軍を援助よとて
 とやせよと告げん。城のやまきふてせり。名を尾興方來へ水谷武部。自勢を率果し斬く。進軍の構へ鹿垣を
 撃破らんとせり。小ぞ陣中いよく散乱す。浦添ふる小見入りなまは城
 益々すく。繞懸まじ。鹿垣の隙へり。下せよと視る。て織田の陣中。哨号の
 一炮放し。火埋伏し。と坂井。女流。右左一隊小歩起。城を軍を利誘し。
 攻起り。織田の陣中。騒動。とちま止む。城をあるへと驚く。隙もな。陣中一突と懸て。出鑿。血小せとと播。とる。城を大に慌忙。諸へ進軍。

謀計ありし。登退返せと。味たり。右側左側小連登。と本下。坂井。女流。一隊小ありて。退走。と。頼る。指揮せし。事。城。中。陣。中。士。十。四。五。人。を。傷。つ。け。ど。し。て。あ。ま。と。活。捉。秀。吉。が。前。小。撃。居。る。と。あ。り。て。軍。の。要。用。あり。退。走。く。ら。ど。と。諸。將。を。制。し。生。捕。の。業。を。撃。起。し。陣。所。小。返。る。夜。の。曉。り。秀。吉。常。の。士。と。り。て。一。個。づ。撃。出。し。綁。を。解。く。厚。く。勞。り。酒。會。令。恨。と。多。く。馳。騁。詞。を。和。ら。げ。て。喜。ぶ。と。あ。り。國。司。の。儀。中。一。族。を。諸。將。の。妻。子。眷。屬。と。あ。り。て。小。隊。安。つ。と。汝。們。定。め。知。ら。ん。有。任。任。小。喜。と。と。然。ある。胸。が。遠。上。小。も。恩。賞。を。得。さ。せ。く。帰。と。し。と。展。婦。賺。と。鞠。を。小。組。の。う。ち。の。者。と。ぬ。と。て。實。を。明。さ。ぬ。事。も。あ。り。酒。圍。小。茶。ぬ。ま。が。昇。死。軍。の。習。氣。と。て。驕。慢。情。を。と。も。も。あ。り。答。應。態。の。涼。切。あり。情。義。小。絆。さ。し。現。然。と。を。注。如。く。と。報。け。る。小。より。孫。吉。亦。大。小。を。悦。再。び。褒。賞。の。財。貨。を。施。捨。り。こ。ま。を。陣。中。小。

謀略の
種みせんと
木下城兵と
虜ふは



豊臣記三編巻之九

一、此上の方便を報け、高城落をさしむ。伊勢系柏の遠くまじ、
 漸心寧くおがさきよと東地の陣をへ取て返す。活捉の軍は甲冑を脱
 せ、潜行し懸壁をりたる者十二人を撰出し、彼甲冑をこき解小忠を城
 の者十小弁拾せ、計略を具小謂命を國司の藤中諸士に書きし、探置
 たる多羅の首の裏あり、別館當てを越せぬ。強小是十二人の勇士達ハ、
 胆絶壁を脱し、釋懸壁の像くおまふ。或ハ敵の陣を脱し、通穿或ハ山嶽を越
 えて、難なく多羅の首を館小到り。路條の引導を隔て、到りく刺殺し、十
 人のうち一人ハ木下の陣を返り、初中後詳小告りし。秀吉喜び、遠事を
 信長小言状し。然ハ多羅の首を懸け、國司の藤中諸士の書子を兼提り、
 と計議を定め、十月七日の夜、小隊をこし、引率し、悄悄小隊を越

なる丹も遠多羅の首とのふ、高ハ大内城の西南小當り。最極險阻の要所
 あり、國を遠地小館殿を遠管着中より、男兒達、姫君を懸け、
 安置し、娛樂親托の休息をとむ。殊ハ絶系の勝地中、既望、終日絶こ
 照し、然ども案内知らざる輩の到るき、釋りて死す。秀吉細小探をさせ、こ
 人の者、案内をこし、千人の兵中より、五百余人の精を分多羅谷隨一の
 難を越せ、木下の根を傳ひ、岩角を南歩を辛苦あり、七階上り、多羅の館に
 右の方より、林に茂り、小隊を懸け、兵軍二子五百を、谷の本道より推進せ、
 せん。十月一日の夜、事過り、刻頭を乞糧つらむ。既小曉、さん天子降し、龍を
 庵の梢に、細細投し、射し、靶と結んで、攻登る。多羅ハ要所より、とりこも
 國司の連絡あり、おせ、一旗あり、大内宮内大輔、森本花彈を大將
 として、二千余騎を、守護し、り、木下秀吉、禰く、り、國司の親戚、一門を、兼



木下
謀
謀合
大河内の
奥城
多藝谷小
襲投

豊臣記三編卷之九

九



豊臣記三編卷之九

四

大坂を攻めんとす。軍八万の心と要まらば。搦手をうりて。頭をくく。曙の天をくらや
 暁も。商風は推進せし。城をうり。香流と赤菟。然るに近來城中。何
 もの攻門も。軍を徒対陣し。立るも。何の攻門も。攻来らんこと。蒙るも。知らぬ
 不意のひ。殊に多。若し一掃ハ。浪浪。中の要。産のま。容易。来る者。あり。は。
 且。籠城の。と。え。より。款。進。来。り。し。り。も。な。し。と。月。心。も。稍。か。ご。ろ。ら。む。と。急。務。の。
 とも。不。ハ。木。下。が。勢。の。二。千。の。百。一。度。子。突。と。攻。進。し。て。打。撃。く。こと。大。方。好。ら。ず。機。會。
 よく。物。勢。降。く。降。く。勢。の。多。少。も。視。徹。ら。ず。館。中。の。將。率。慌。忙。し。と。り。や。款。
 の。進。ま。ず。と。急。よ。刀。よ。鳥。院。と。懐。疑。と。空。小。へ。上。と。下。と。強。動。せ。り。然。も。要。
 岸。濱。に。れ。バ。木。下。勢。も。志。の。と。急。ま。る。急。投。と。偶。々。を。徒。坡。が。根。り。上。
 方。と。曉。作。無。味。人。を。あり。と。と。將。森。か。大。河。内。諸。軍。小。嚴。く。指揮。せ。て。
 矢。至。と。備。ま。す。と。防。戦。し。る。と。勇。者。素。より。軍。を。好。む。と。早。小。款。と。急。し。自。言。

の。機。を。感。ず。つ。せ。し。況。を。挫。ぐ。計。策。を。こ。ば。皆。小。向。て。固。を。つ。ら。せ。樹。木。を
 叩。く。怖。を。少。ぞ。船。皆。遠。近。皆。小。河。を。合。さ。く。駭。し。と。躍。り。々。遠。駒。用。道。を。巡。り
 たる。五。百。余。人。の。兵。士。軍。も。と。曉。ぬ。際。小。多。勢。皆。一。巻。着。五。百。と。又。二。隊。小。分。
 二。百。の。十。人。と。樹。木。の。固。小。仕。縣。を。二。百。五。十。人。の。案。内。の。名。士。せ。り。と。先。を。と。國。司。の
 等。原。中。部。若。君。を。ん。ど。が。居。ら。ず。版。の。後。小。旋。り。鳴。号。の。時。刻。を。待。つ。る。小。河。内。國
 の。合。戦。數。起。し。と。見。入。大。勢。無。味。が。声。小。河。内。を。あ。ら。う。と。所。え。館。宿。電。は
 名。士。隊。も。大。使。面。圓。小。向。ひ。し。と。能。視。徹。し。と。去。來。さ。ら。ん。天。の。擡。り。時。を。來。
 見。し。と。號。鼓。び。し。と。幸。ひ。館。内。へ。馳。投。出。合。軍。を。六。次。制。し。後。殿。津。道。を
 行。木。下。は。名。士。は。く。小。あ。ま。く。敵。は。進。来。り。し。と。此。方。へ。か。え。し。し。ま。を。と。城。方。の
 休。小。備。取。果。せ。國。司。の。連。枝。を。解。し。と。諸。將。の。中。妻。子。從。類。を。一。個。も。殘。さ。ず
 誘。引。出。し。或。も。藥。小。早。投。け。或。ハ。後。橋。小。う。ち。を。せ。と。多。勢。皆。其。の。版。を。走。

多藝澗の
城中
連枝
女房達と
捕らる



出る。然も本林本大河内。退る。合戦急形。由。無の事。とせ。此の如。事。
 正里小多の。戦ふ。小。館。倉。卒。小。急。劇。く。啼。叫。ぶ。者。の。所。へ。一。六。の。事。
 中らんと大小。怪。き。馳。疾。ら。ん。と。あり。小。機。會。館。の。後。に。樹。木。が。周。り。火。一。燭。
 して。燃。出。し。が。瞬。際。に。種。火。と。形。り。城。の。方。へ。吹。ま。る。小。ぞ。徒。事。あり。と。
 慌。忙。に。散。れ。ま。る。と。風。沙。の。像。し。得。小。堅。固。の。要。涯。あ。ら。う。諸。君。の。士。の。
 一。起。右。往。左。往。小。敗。走。ま。る。と。本。下。へ。ま。る。う。自。燃。と。懸。ま。し。ま。る。や。坂。合。
 响。り。ぞ。各。々。投。や。各。軍。と。聲。振。り。揚。げ。ま。る。小。喘。り。新。々。と。道。を。果。然。と。
 傳。ひ。構。を。越。一。度。小。突。と。觸。接。し。復。復。廻。り。城。を。畢。と。滅。多。段。小。破。仗。擲。仗。
 二。三。度。と。小。致。り。程。小。本。林。本。大。河。内。の。両。將。も。心。を。く。ろ。い。極。け。ま。る。敵。の。勇。氣。
 の。壯。し。く。自。軍。大。半。毀。ま。る。と。止。り。て。防。ぎ。ま。る。本。城。さ。く。と。連。邊。る。如。
 進。軍。十。分。の。勝。利。と。得。秀。吉。館。小。撃。て。投。致。し。女。性。老。少。と。皆。懇。小。女。抱。

一。本。陣。さ。く。と。連。邊。る。殘。る。本。下。に。軍。士。連。ハ。館。と。乘。取。固。く。守。護。せ。り。諸。君。
 吉。高。秀。吉。の。國。主。の。連。枝。連。と。棄。取。信。長。の。前。へ。出。合。戦。の。始。終。を。言。状。
 しく。伝。達。小。遣。使。も。ま。る。し。と。あ。ら。う。遠。道。國。主。の。名。聲。中。を。と。め。諸。將。の。妻。子。と。
 悉。く。棄。取。て。傳。へ。本。城。の。名。士。の。勇。氣。を。傳。へ。自。軍。八。十。分。の。威。勢。を。傳。へ。ま。
 今。遠。响。こ。と。我。君。の。所。實。仁。と。顯。さ。る。使。節。を。傳。へ。中。へ。遣。し。と。多。小。棄。取。る。
 連。枝。以下。諸。將。の。妻。子。を。殘。り。ま。る。亦。く。勞。慰。送。歸。し。和。睦。を。勸。め。ま。る。い。ま。へ。
 國。司。不。知。妙。の。謂。小。及。ま。る。城。中。の。諸。將。會。都。て。君。に。仁。義。を。感。嘆。し。ま。る。い。ま。へ。
 略。し。傳。へ。し。軍。に。漸。使。者。を。遣。ま。る。と。急。に。一。と。勸。め。ま。る。信。長。得。と。所。し。
 官。廳。の。始。も。宣。し。と。い。ま。も。其。實。千。事。万。苦。と。棄。取。る。人。質。を。直。北。小。送。歸。さん。と。
 とい。小。も。以。て。殘。念。あ。ら。ま。る。と。宣。ふ。言。葉。の。了。る。ま。る。と。本。下。重。ね。て。請。て。館。中。の。
 屋。中。已。下。を。止。免。至。ま。る。君。の。仁。心。顯。を。承。蒙。候。と。言。ふ。と。あ。ら。う。和。睦。を。愛。さ。る。

木下
女儀
奪ふ
本陣
歸る



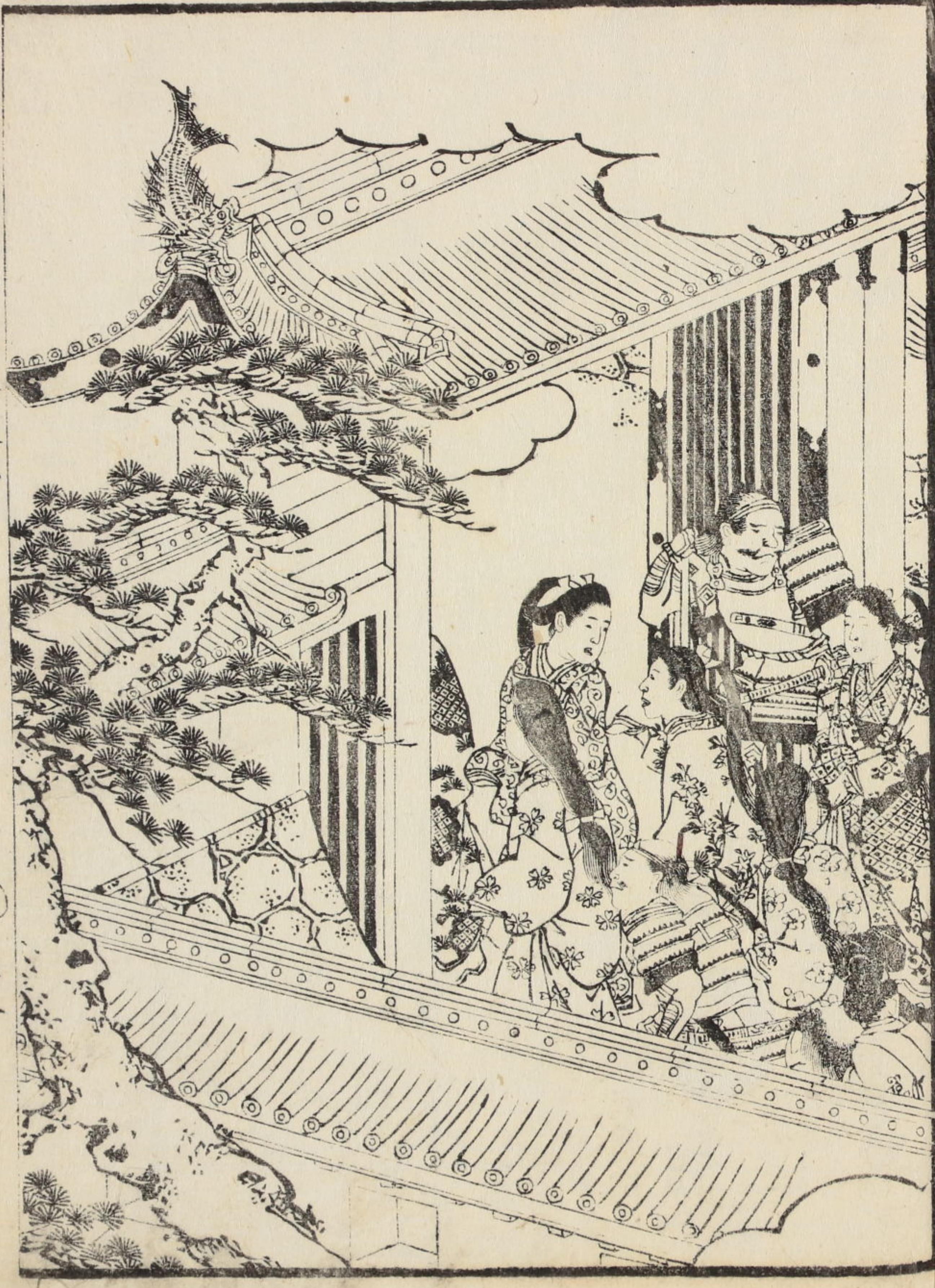
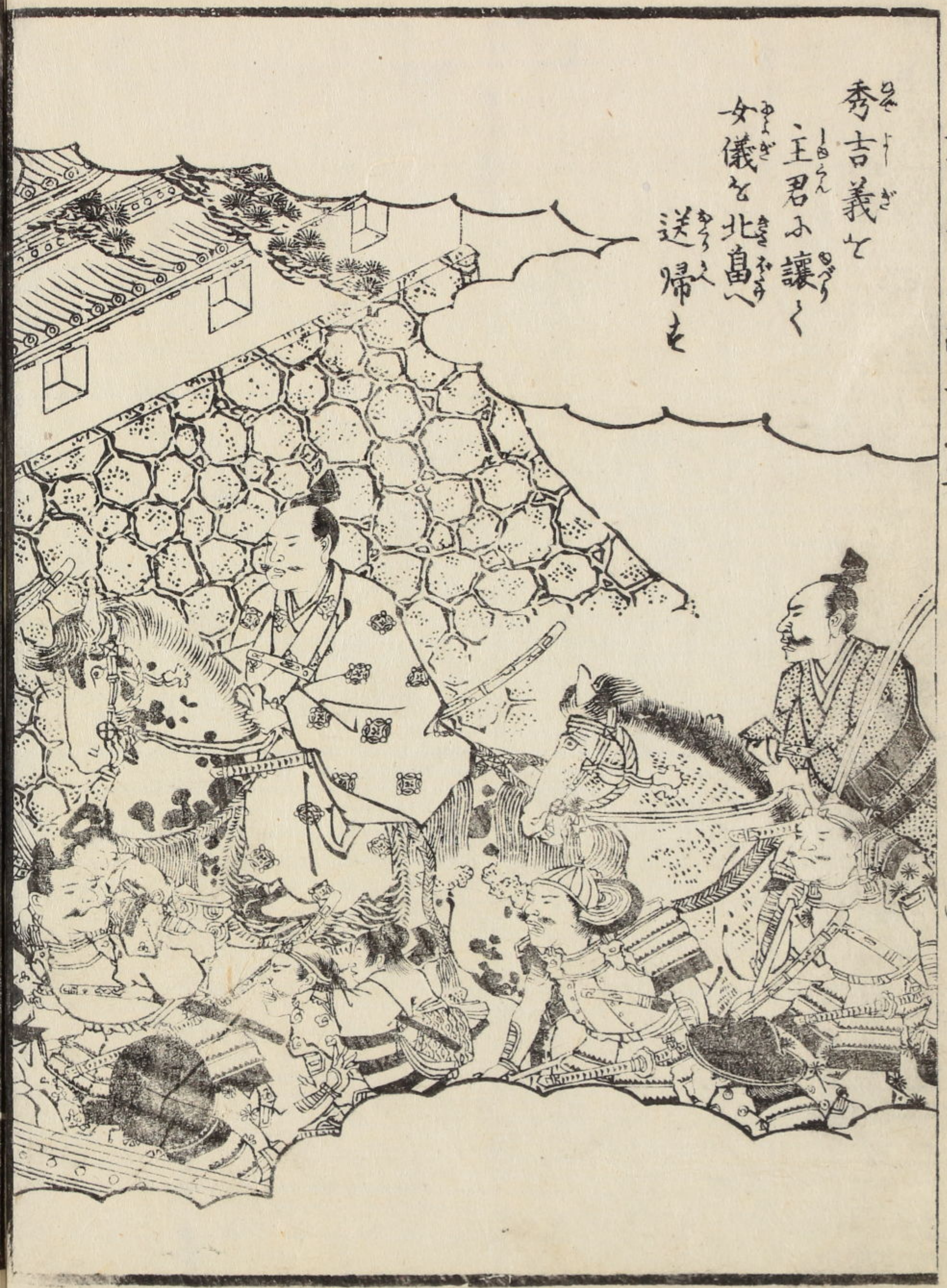
たすふらら。諸將候うらむを恥と顧所。妻子の愛小惑満て國の大事を
 過と下とます。脱氣と懣む。死小まづく。使節と連させらる。本小思意の後
 くる。國司は藤中を怖れまわらせ。陣中へ供奉し。いとも信長へ好
 界使と好まを。軍小軍の道。律並にせりて貴しと。後小士民を病らし
 て。國中の楊を。艦さんより。速小あ家の和睦を料理合戦を止さんらんこそ。世の
 為自のため他は。安泰の基を。早く怨念を翻し。順和の心を起し。こ
 命遣し。遊を。さきと。初めたてまつる。小より。再使節。田又た。忠。管若九。在。門
 と使節と。賜。案。扱。る。人。質。と。悉。く。送。歸。さ。さ。け。る。

信長義使統國司轉和睦屬勢別軍法

人間の患若くは生別難小過さる。と。得小種。勇。士。大。河。内。軍。陣。の。個
 も。遠。遣。秀。吉。が。奇。謀。小。犯。さ。る。多。為。の。要。産。と。統。統。身。せ。ら。る。勝。國。司。の。連。枝。と

細小。緒。將。の。妻。子。と。案。扱。ら。る。悲。歎。は。少。説。さ。る。も。賜。百。金。と。城。會。々。ら。
 信。長。よ。り。使。節。約。り。多。為。言。さ。る。案。扱。ら。る。女。性。初。推。と。送。來。り。城。門。外。小
 報。せ。る。實。形。と。思。は。さ。る。も。人。が。出。て。く。せ。む。小。説。さ。る。報。せ。ら。る。と
 計。議。も。織。田。家。よ。り。の。使。者。と。九。一。途。管。ら。る。若。田。管。若。信。原。小。は。國
 司。父。子。對。面。し。使。節。約。禮。と。厚。さ。る。終。て。若。田。漢。多。や。夜。前。織。田。家
 の。侍。大。將。本。中。と。案。扱。ら。る。の。多。為。言。の。館。と。改。め。り。新。連。枝。と。め。諸。將。の。内
 室。残。ら。る。案。扱。ら。る。軍。軍。法。不。為。非。を。作。終。り。終。り。是。全。く。信。長
 の。本。意。小。作。と。同。く。驚。と。懣。と。送。り。返。し。た。て。ま。つ。ぬ。信。長。素。より。北
 高。家。小。怨。あ。り。と。い。ふ。少。い。あ。ら。ま。遠。遣。軍。と。請。せ。一。事。の。國。郡。と。案。扱。ら。る。と
 々。々。去。り。頃。放。將。軍。と。好。だ。た。め。小。軍。世。す。自。し。當。將。軍。家。義。公。と。揚。ら。る。と
 た。あ。ふ。小。より。と。人。信。長。速。小。河。將。佐。小。馳。急。り。忽。ち。凶。徒。と。謀。し。せ。ら。り

秀吉義々
王君小讓
女儀と北島
送歸と



由一木中秀吉が向ふ下軍小勝とていふ事也。然程小信長ハ威勢倍々
 盛ふく。死廻曠の昇る像。此威小まじく朝倉と休休とてと思ひ案
 然ども其と披露小及た六清井の義致目なる。款小も準備とてりまは
 唯何とまじく上洛し。不意小越前ハ能入せ。必定勝利あらんとす。二月下旬
 小信長と考合せ内程遠營の所收。次々改元所評決のこめ上洛とてしと
 披露せらる。永禄十三年二月廿五日。波阜城と出馬し。諸次と後々
 逗留したるひ二月廿九日の午計小京都へ所着す。至ひ所折ハ出仕のひふま
 らぬ。禁中へ参内あり。時ハ四位下小叙せらる。京都の逗留日と経る候
 小畿内と國の大名諸家次取京都小馳参る。是ハ信長の内意あり。越前
 退治の所務小列せらる。思擇あり。既小徳都参る。日暮バ信長ハと平
 信長と。命出されり。今國郡と取領。武士の上首とてり者。いふる。

遠境とて。將軍家ハ参勤とて。律勿論あり。惟久是と思え。是ハ死期や
 近國隣地と平。然る小越前ハ朝倉義家帝於と去こと遠くらす。境小
 國と持つもの。先將軍の所恩小縁所相伴衆ハ加へらる。他小殊あり。

家格とて。當將軍家所滞洛の后毎度使節と駈。置ま。所
 態の所發あり。と。とも義家一層も上洛せむ。積北國小威と振ひ。不
 忠の至る。語小絶り。將軍の所職とて。形像の者と所扱あり。他家
 ま。小較意と。自由と企望更と。斯く小靜徳の朝あり。是
 小信長。然意と伺ひ。地小越前ハ出馬し。朝倉義家の罪と外。そのち
 小陸七別ふ。將軍小背く軍と。遠々邊洛とて死あり。時小陸ま。

随分烈忠の軍ハ。將軍の所感小あら。と。命せらる。小大名小名り。

膜津。承所。いふも。朝倉と。来使節と。小も。と。せぬ。

され休休あり。案、小倉際より、存、休、休、休、向、志、る、べ、し。と、異、口、同、声、
 小倉出、し、る、ま、は、信、長、喜、悅、淡、ら、む、と、進、備、の、事、を、徇、出、さ、さ、り、到、小、二、
 條、の、所、所、へ、來、り、朝、倉、が、之、禮、を、稟、し、起、兵、の、國、小、純、向、ひ、義、景、が、罪、を、
 乳、さん、上、旨、を、請、直、さ、さ、さ、る、小、より、將、軍、家、も、先、達、を、使、助、と、し、ま、し、由、緒、を、
 あ、ま、さ、バ、味、少、か、が、し、り、と、い、ふ、事、也。右、後、信、長、が、所、次、の、天下、の、軌、則、忽、諸、あり、ぬ、む、
 事、と、得、を、許、さ、さ、した、る、信、長、護、ん、と、所、奉、り、や、所、所、を、退、出、せ、し、る、由、達、响、
 既、小、改、元、あり、て、元、龜、元、年、と、算、め、号、を、信、長、軍、馬、全、備、し、る、ま、は、四、月、廿、日、
 の、辰、未、來、小、京、都、と、進、發、あ、ら、せ、ら、れ、江、別、坂、小、於、於、勢、列、仕、し、總、都、の、軍、
 云、と、美、々、々、々、々、々、余、務、と、ぞ、記、籍、し、る、當、日、ハ、堅、田、小、若、陣、何、と、翌、天、廿、日、若、
 別、懸、川、小、若、せ、た、ま、ひ、松、宮、玄、蕃、の、館、小、所、入、あり、次、曾、小、道、と、う、と、至、ひ、同、月、
 廿、九、日、少、ハ、越、前、敦、賀、へ、列、幕、あり、其、ハ、關、を、朝、倉、家、少、ハ、信、長、極、威、威、也、

て、將、軍、家、を、再、與、せ、し、後、ハ、必、定、敵、と、る、越、前、へ、先、入、あり、ん、と、精、察、せ、し、る、
 之、は、進、備、急、り、む、殊、小、若、年、ハ、上、洛、あり、て、二、條、の、所、所、經、營、の、こ、め、隣、國、
 の、武、士、を、集、め、ハ、是、を、當、國、進、發、の、分、擔、あり、ん、と、評、定、あり、て、江、越、境、の、要、
 崖、小、嚴、々、構、へ、そ、の、と、あり、ん、諸、前、の、城、中、小、若、士、を、投、置、防、禦、は、方、秘、也、
 あり、し、が、何、の、沙、汰、も、及、な、さ、ず、と、改、泉、へ、退、陣、し、る、小、より、臂、を、張、極、才、を、國、
 め、て、待、甲、變、も、な、く、祝、氣、を、祝、ま、ぬ、當、春、も、又、織、田、の、君、臣、唇、縁、さ、る、小、と、
 洛、せ、し、る、密、小、京、都、へ、同、者、を、遣、し、實、否、の、曉、諭、を、窺、せ、る、小、越、前、敦、賀、向、の、
 風、貌、を、問、者、地、小、若、と、返、し、注、伸、せ、し、小、若、臣、義、景、軍、少、若、を、言、信、し、て、
 一、應、當、國、敦、賀、の、郡、金、が、濟、少、く、防、戰、と、い、ふ、を、陳、小、義、景、軍、大、軍、を、帥、と、據、を、
 と、い、ふ、と、強、定、し、る、遠、小、金、々、崎、の、城、を、朝、倉、中、勢、少、補、系、恒、と、い、ふ、ハ、朝、倉、九、郎、左、
 邊、の、系、紀、入、道、伊、丹、の、二、男、あり、し、が、兄、系、悦、軍、世、せ、し、る、景、恒、を、り、つ、て、家、督、と、し、

智勇絶倫の壮士あり。義景亦朝倉家小目足に像く頼憑り。是小
 よりく金を誘ひ。三千余騎の精兵あり。要崖堅固小卒城を備えり。
 去牟構設けし。金が濟の謀小隣り。子簡が峯と号けし。岩の當國を双の
 要崖なれば。寺田兼光先年より。五百余騎少て成を。遠達あり。小加勢
 くと北回左を九股右を津波甚や。侍領とて千五百人を相副し。久
 系恒大小力を得く。逆小救ひとて。謀を定めり。然れどに織田信長
 十萬餘騎の大軍を帥ひ。四月廿五日の破曉越前へ。北へ其勢あり。山海の
 涌崩るるが像く。國中の貴賤老幼男女怖懼き。倉佐小山林津谷へ
 逃隠せぬ。响小信長評議し。金が濟と平筒が峰と。穴管易あり。要崖
 あり。穴管の小山を先とせん。穴管の山とあり。明智光秀重し。り。やう。
 小原先年當國小姑く遊止せし。小よりて。祿々國の風儀を知らる。朝倉の家

小原諸士雲江像く。有この下も半の會是米弱あり。其が中小唯獨金を誘ひ
 城を朝倉中勢を懐く。系恒の父兄小原らぬ。勇猛あり。是よりて。要崖堅固の
 金が濟と守護し。穴管易落城なり。子簡が峯も。然り。只一男小
 原守と。名を忠とて。一方と改め。置けり。言出を。本小秀吉進
 出。餘小光秀の當國小原に。心記あり。安免強懸小精。り。は。將
 佐の援助を。形を。然れども。一方小原守を。置の計。器の。是。は。金が濟の
 朝倉景恒勇種不敵の壯士。將が。備一計を。忽地。落。は。目。こ
 子簡が峯。と。り。の。要崖。堅固。あり。由。小。籠。も。多。士。も。最。少。し。備。を。く。り。の。小。城。小。射
 て。一夜。を。過。す。六。羽。日。の。心。を。義。景。大。軍。を。引。率。り。後。援。せ。ん。事。能。ひ。な。然。小
 よりて。遠。等。の。城。の。一。時。攻。小。せ。む。ん。が。あ。ら。む。此。を。奇。計。を。用。ゆ。所。旁。湖。の。傍。け。安
 だ。と。裏。に。信。長。小。も。遠。義。小。同。心。形。し。玉。ひ。然。は。是。より。時。を。移。す。を。平。筒

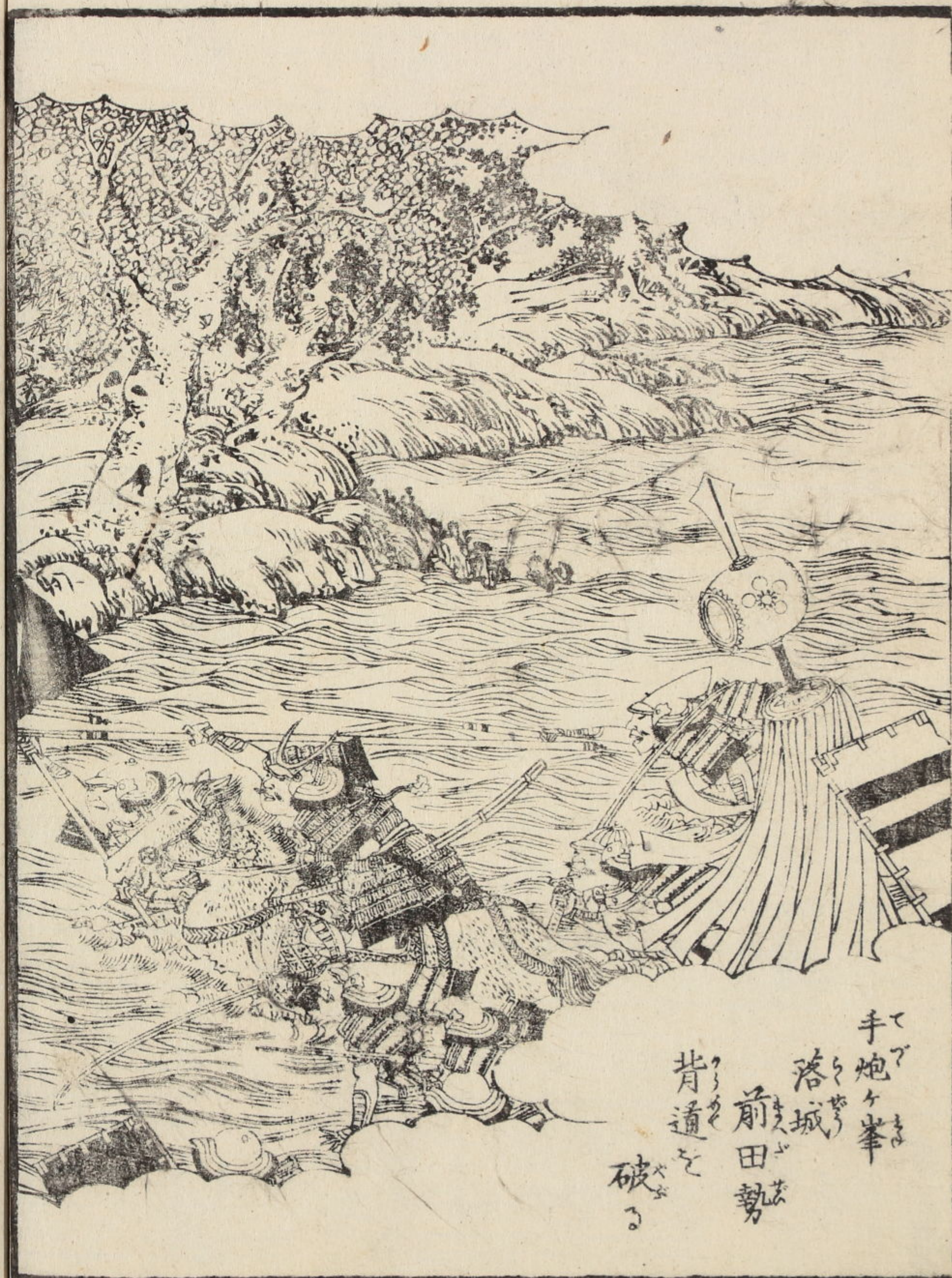


越前朝倉の
安崖手炮ヶ峯
城攻



城小ありき。是日、近九股、右近、依眺と見え。諸を援多し来るより、進出の隊、依へり。是より、先、俺們も撃て、幾、双方、援多し進出せ、敵人と城戸を用ひて、五百、余、騎、集、地、小、赤、下、小、木、下、惣、々、大、小、狼、狽、散、々、小、あり、て、引、退、く。這時、朝、倉、景、恒、ハ、行、中、惣、と、敵、ふ、た、り、じ、が、織、田、勢、四、百、十、回、道、より、金、が、崎、を、越、え、と、推、進、す、事、急、なる、中、吉、吉、と、所、へ、大、小、様、も、預、け、防、衛、乃、方、御、い、あ、き、と、進、出、大、勢、後、詰、を、影、に、軍、を、好、ま、し、難、危、あり、と、手、筒、が、崎、小、進、す、敵、も、一、擧、攻、め、と、退、き、は、我、援、多、し、功、も、達、す、方、儀、ハ、居、城、も、大、事、あり、疾、速、退、せ、と、指、揮、せ、傳、へ、景、恒、も、う、ら、後、殿、と、退、死、す、と、行、中、も、合、合、時、と、退、蕞、を、木、下、惣、々、小、合、隊、せ、り、柴、田、坂、井、ハ、二、千、余、騎、城、の、禁、小、置、仕、せ、一、匹、田、九、股、が、城、中、より、赤、下、出、る、を、得、と、沈、視、令、を、録、し、時、刻、あり、と、と、穴、崩、せ、と、二、千、余、人、喚、叫、ん、で、驚、く、蕞、々、匹、田、九、股、の、五、百、余、騎、驚、懼、し、て

退、揚、ん、と、赤、く、下、へ、木、下、行、中、左、右、より、備、外、へ、嚴、く、退、極、攻、起、す、南、より、勢、別、武、者、小、は、言、う、五、截、内、勢、水、漏、さ、と、推、極、一、の、城、を、い、る、を、採、り、と、千、餘、騎、倒、れ、る、う、ち、一、匹、田、九、股、も、戦、ひ、疲、れ、龍、軍、中、小、戦、死、一、れ、ば、残、る、軍、大、半、駈、こ、敵、と、負、も、あ、り、通、る、も、あ、り、織、田、勢、より、外、小、兵、士、の、如、く、遠、响、木、下、の、一、隊、を、討、捉、す、敵、百、五、十、級、柴、田、坂、井、係、と、是、小、陣、下、ぬ、城、中、勢、と、見、る、より、も、防、衛、の、力、も、弱、果、い、る、と、憫、然、と、う、ら、む、も、あ、り、せ、と、二、方、より、喊、せ、つ、つ、と、馳、ひ、蕞、々、彌、志、小、途、を、失、ひ、懼、怖、し、傳、を、と、り、城、の、大、將、寺、田、宗、女、不、敵、の、勇、士、助、り、多、き、に、望、も、臆、せ、を、諸、軍、を、勵、ま、し、心、死、と、覺、得、な、る、上、ハ、何、の、思、ひ、も、あ、り、死、ね、お、と、と、傳、を、と、り、疑、ふ、こ、も、亦、未、だ、し、ハ、力、を、得、く、相、挽、ん、と、と、是、も、心、小、任、せ、と、隊、仗、を、ら、く、あ、ら、る、体、を、信、長、得、と、漸、覺、あり、と、の、背、門、を、騎、援、進、免、く、と、指、揮、し、至、ふ、丹、羽、五、百、騎、を、赤、下、又、左、門、



てア
手炮ヶ峯
落ヶ城
前田勢
背通を
破る

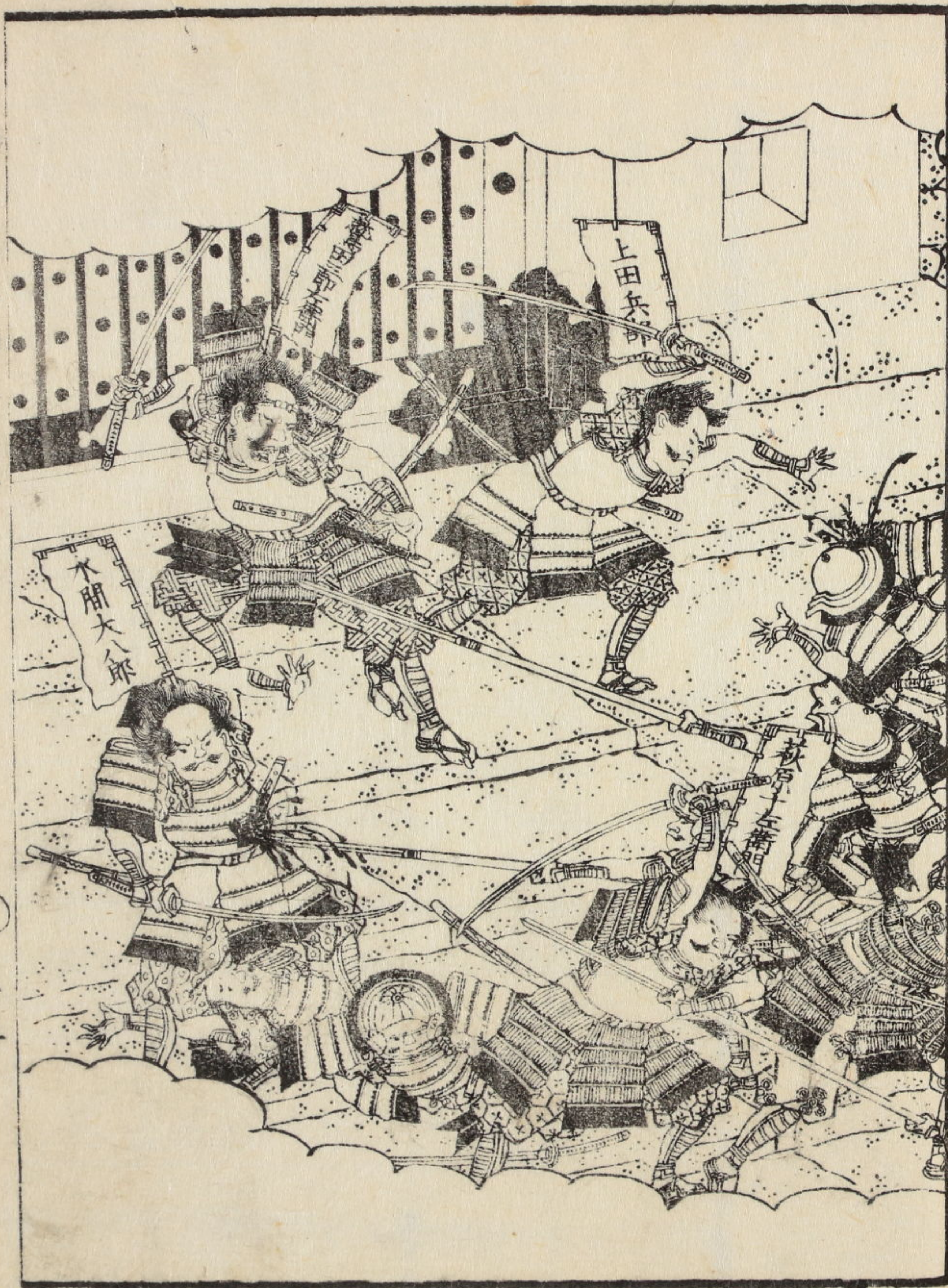
佐々内藏助係りたる小大沼を以て此とも思ふを。此指と撰る久遠小背方
 と騎破るも水の邊を切墜し。諸將の陣屋へ火を懸けり。其小旗は勢別勢
 南の方を打破も六柴田坂井の面門を系扱五畿内勢へ北より突扱四方の
 軍勢遅速者を以て入るべく斬り置る。城を一個も遁走得ず。糧を累て戦
 死せり。寺田系女津波甚四郎。今いこまを形と覚悟し。利番を死せり
 了り不得小。唯し此平筒が峯も一日小陥失り。軍勢止しと信長中。
 奮躍せらるる。飲悦あり。木下計畧と諸將の勳功を賞し。存ひぬ
 朝倉景恒。猛雷血戦。逆軍。属。金崎岡城
 一討滅。六萬計。定まる。平筒が峯。要。崖も。戦ひ。終。之。四。時。小。し。く。
 落。去。り。せ。し。小。今。八。幡。織。田。の。勢。威。破。竹。の。像。く。此。氣。を。脱。を。推。を。せ。り。
 金。が。崎。も。攻。陥。せ。り。と。愕。然。も。あり。し。も。當。天。も。申。小。迫。り。な。り。今。宵

ハ諸軍小休息させ。曉まで四月廿六日。寅小。名。標。と。契。了。り。灯。の。一。更。小。推。出
 し。金。が。崎。を。向。も。進。り。然。れ。ど。朝。倉。中。務。景。恒。ハ。昨。日。子。筒。が。峯。の。後
 援。と。し。て。中。途。を。強。く。奪。り。織。田。勢。後。進。を。棄。て。城。を。誓。え。ん。と。ま。り。小
 旗。は。退。返。し。た。る。路。に。小。佐。久。間。信。盛。池。田。信。雄。森。可。成。が。五。千。金。勢。集
 る。一。個。も。遁。が。し。せ。し。と。勢。極。く。突。發。する。小。系。恒。原。来。大。力。小。し。て。勇。猛。拔。群
 り。り。も。六。堂。少。も。座。せ。ど。自。擧。小。向。ひ。敵。ハ。大。軍。あり。け。を。汝。們。も。し。ず。一。張。を
 の。軍。と。せん。と。思。ふ。づ。ら。も。只。正。面。の。敵。地。を。破。り。純。拔。ん。こ。と。を。要。と。せ。し。後。之。敵。小
 突。入。り。り。進。ん。で。し。る。諸。將。も。退。走。し。遁。り。地。は。り。き。ど。と。勇。猛。を。言。ふ。一。勵
 中。を。バ。聽。も。し。る。や。も。見。え。る。由。へ。系。恒。大。小。統。勢。ひ。二。千。余。人。を。勇。猛。小。備。え。
 激。波。の。巖。小。當。り。が。像。く。一。更。も。せ。ど。突。て。根。右。小。當。り。左。小。拂。ひ。右。を。身。を
 系。小。し。く。斬。破。ら。ん。と。擧。げ。ど。も。了。得。の。佐。久。間。森。池。田。猛。氣。烈。く。一。更。ハ。戦。ひ

通一のせとと擡ぐりなきに敢て捕へくとも思ふ事なりしが、景恒は従事して、憤
 怒し、遠敵を討ちんとせん。英雄の名を失ふべし。とまじく、烈しく突起する
 小ぞ勢あつく當りたり。磯田勢、逆小旗、名もた右へ頭と、敢て、景恒
 目をうり、又言あげ、名、自軍、斬傷するぞ。続けや、名、常事、と、馳せ、と、馬
 と、激起て、敵を、まじに、激く、一言せうち、破り、自軍の、旗を、額を、千騎計を
 残り、る、怒とも、景恒、も、屈せ、を、敵、辱め、く、退く、由、磯田、勢、か、も、適に
 止し、と、敵、く、跡を、追、蒐、来り、合、が、等、近、く、あり、る、响、景、恒、恥、と、晒、り、て、追
 来り、敵、を、く、隙、を、一、遠、征、城、小、退、入、ら、ば、必、定、に、名、報、せ、ら、る、べ、し、と、止、り、て、一
 防、進、来、り、敵、と、拵、り、や、と、駿、車、を、走、入、城、を、景、恒、槍、の、柄、の、血、を、拵、り、ひ
 道、を、入、百、騎、を、前後、小、建、退、来、り、敵、を、待、蒐、り、磯、田、勢、恥、と、思、ふ、より、も、又
 一、探、小、捲、名、を、同、と、拵、り、と、城、中、へ、名、報、せ、り、と、五、十、餘、騎、面、も、拵、り、を、拵、り、

菟。景恒、怒、り、軍、を、色、に、此、ぞ、勇、氣、を、敵、を、小、に、名、報、せ、り、と、膽、を、潰、さ、る、事、と
 事、も、一、ち、一、小、大、喝、一、声、喚、り、大、軍、の、中、小、旗、拵、退、の、近、く、戦、ひ、血、に、混、り、と
 沙、場、小、流、ま、る、馬、の、蹄、も、没、さ、る、を、向、ふ、と、拵、伏、せ、敵、伏、せ、殺、し、を、盡、し、と、殺、身
 事、も、進、も、進、も、大、軍、展、將、り、息、を、繕、せ、り、と、合、別、隊、又、も、見、殺、し、
 景、恒、今、の、全、く、疲、果、既、小、先、く、見、下、り、る、景、城、中、小、あり、一、千、餘、人、圍、攻、を、守、り、て
 敵、を、棄、て、代、り、拵、抗、り、小、を、磯、田、勢、大、軍、あり、と、事、も、利、利、の、戦、ひ、小、勇、士、し
 う、(新、隊、の、城、を、小、旗、起、ら、る、四、五、日、後、退、還、す、と、名、報、小、景、恒、自、勝、を、率、
 具、し、幸、く、城、中、へ、馳、入、り、怒、も、佐、久、間、森、池、田、退、還、し、て、の、突、く、向、ひ、引、伏、さ、る、事、
 へ、斬、り、損、六、七、遍、か、り、と、る、内、小、城、を、擊、つ、事、多、く、進、も、あ、り、と、討、死、す、事、
 も、進、ん、た、者、指、ん、と、喚、叫、ん、と、攻、起、り、事、も、朝、倉、藩、代、の、勇、士、達、之、十、九、人、城、中、
 際、小、旗、止、り、と、戦、死、し、事、も、進、も、た、右、好、く、進、を、得、た、と、朝、倉、勇、も、城、中、へ、退

金ヶ崎危急
朝倉家
三十五個の
勇士
闘風際
戦死



入し事と論じて四方の関風と村固め備進事と撃倒さんと云うは
 準備をなすうも小日も西山小使とて進退も重時休らざる(信長の
 本陣より)城攻め明日と指揮ありし由(殿控し首と擧集め實檢小入ら
 り)願ら難渠と名と推小之臨時評七帝同(并)上田公助真本五
 弁左馬中村益庫助富田中勢土山新右衛門菅六左衛門岩井左衛門
 繁田三郎左衛門水間大八帝山本権右衛門秋原十左衛門と編とて發率の
 敵とも都合五百有餘級然とも今日朝倉系恒尋常あらざる防戦せし
 く(自分)の發率八百余人(臨)まじし(中)小本村十帝之帝之編(與)市(業)原
 源左衛門丹羽孫兵衛柴田源五帝(之)依(名)を得(勇)士(之)進(代)稀
 あり烈戦ありぬ然れども(以)明日廿六日(織)田(の)摠(勢)十(百)余(騎)會(合)濟(の)城
 小か(進)せ(四)方(を)ま(と)くと(推)提(卷)蟻(蟻)の(出)る(隙)も(あ)らせ(と)て(嘆)息(を)し

て攻る後小操前(やせん)勢敵あり(株)將(系)恒(を)し(も)屋(せ)を(勇)氣(烈)しく
 防(ぎ)を(た)る(が)昨日(の)軍(小)後(曾)都(て)統(と)を(承)る(兵)軍(之)を(六)今(の)防(ぐ)小(操)を(弱)
 けて(見)え(る)由(一)軍(恒)も(共)小(調)然(と)新(果)を(ま)さ(ら)る(信)長(急)小(攻)潰(さん)と
 諸(隊)へ(着)し(指)揮(を)な(ま)す(と)秀(吉)本(陣)小(衆)上(し)諫(を)受(て)向(を)を(ら)う(今
 當(城)の)風(情)と(推)量(り)の)小(攻)潰(さん)傳(最)易(な)是(も)北(陸)七(別)を(征)伐
 し(至)ふ(軍)首(み)れ(偏)小(武)威(を)承(さん)り(且)仁(惠)の)衝(針)を(備)え(し)く(お)も(也
 この(も)ら(せ)ぬ(北)陸(七)別(の)城(を)依(が)勝(小)徹(し)ま(さん)事(實)沖(大)持(れ
 所(於)り(依)る(城)中(へ)使(將)を(遣)ら(れ)岡(城)の)義(を)命(遣)さ(し)て(執)る(不)の)之(士
 残(ら)を(衝)助(命)を(く)い(ふ)と(初)免(京)た(ま)す(ま)は(信)長(小)も(實)も(と)か(が)さ(は)ら
 喜(ぶ)心(次)着(小)針(ら)ふ(と)と(命)を(さ)す(ら)る(ふ)より(秀)吉(我)陣(小)を(歸)り(使)將(を
 城(中)へ(遣)し(遣)し(馬)夫(把)り(身)の)然(る)事(を)ら(當)城(の)落(を)遠(く)ら(ぬ)小(使)ら(の

防衛して是を小諸軍と殺さん事。傷ましくはらば。早く城を固む。大將と下ゆ徳幸を。残りも助命相違なく。一系若小歸らせたまひ。累々武器と錫一。あるは勝利の事ゆらむ。信長深く大將の漸奉勅と感佩。戦死し玉えん事と信。初に意し略らむ。と信。小系頼重。如何なる命哉。かく今も。駿河も當果防戦の精カも。ありは。我々が命ら。たも右も罪なれ。駿河と殺さんこと。いふも不便。小系頼重。まは。小系小隨。小當城と守れ申し。と懇懇。小返言せ。く。木下この義を。水陣へ言状と。され。よ。て。四宮の攻。陣と。と。將。還。く。め。木下。及。吉。舟。の。諸。侍。を。う。發。僅。と。稱。して。之。合。せ。城。中。の。駿。河。を。先。小。を。せ。次。弟。く。小。亦。出。く。繼。英。の。大。い。小。入。信。味。我。方。ら。と。還。を。せ。り。然。く。後。小。朝。倉。系。頼。正。人。計。の。後。者。を。是。果。一。寄。く。然。と。還。城。く。は。も。六。秀。吉。致。く。龍。川。彦。左。衛。門。山。田。之。右。衛。門。の。二。人。小。合。

が。後。を。精。而。せ。目。ま。く。自。勝。と。引。分。て。五。百。余。人。と。是。後。小。亦。せ。系。頼。正。後。と。也。後。と。せ。て。府。中。の。遺。す。を。送。ら。せ。り。六。實。小。系。信。中。の。奉。止。り。と。感。ぜ。ぬ。軍。こ。そ。な。り。り。れ。其。後。合。う。時。の。故。

繪本豊臣勲功記三編卷之五傳

